かたつむり通信

第7号

発行:2011年5月27日
しながわチャイルドライン
運営委員会
品川区西大井2-10-14
TEL/FAX 03-37724865

○しながわチャイルドライン10周年を迎えるにあたって

しながわチャイルドラインは、子どもの声を聴き続ける活動を行って、今年１０周年を迎える事が出来ました。そして昨年は念願のＮＰＯ法人となり、社会的地位も確立しました。会員の皆様の働き、ご支援に心から感謝いたします。今年は東日本大震災、津波、原発の事故の三重苦に遭遇し、家を失い、家族を失い、故郷を失って心に深い傷を負った方々がたくさんおられます。亡くなった方々に心から哀悼の意を表します。
被災された方々も回復には、長い道のりと、暖かな他人の助けが必要ではないでしょうか。支援者を思いやる行為が、どんなに被災者の生きる力を引き出しているのかを、毎日のようにテレビを通して放映され、学ばせていただいています。私たちが受けている電話も、被災された子どもからの電話があります。しながわチャイルドラインも１０周年を迎えて、さらに子どもからの電話に心から寄り添い、愛の伴う活動を深めてゆきたいと、思います。

① 今年は１０周年の記念事業を、若いスタッフを中心に計画、実施します。１０年を１つのステップとして、スタッフのスキルアップのための研修を充実します。そして、しながわチャイルドラインの実施（毎週金曜日）をもう１日増やします。
② ＮＰＯ法人の維持のため、しながわチャイルドラインの活動の趣旨を説明し、理解及び賛同する会員を集め、会員の拡大を図ります。また合わせて助成金、寄付金等の申請を行い、会費の増収に努めます。
③ 行政や関連機関にしながわチャイルドラインの必要性をアピールし連携を図ります。
今年もどうぞよろしくお願いします。　（　しながわチャイルドライン代表　　浅川周二　）

○しながわチャイルドライン活動より

☆しながわ子育てメッセにて「絵馬展」開催　　2010年7月9日　会　場　きゅりあん

「しながわチャイルドライン」は、品川子育てメッセに第１回から参加をしてきましたが、今年は「絵馬展」として参加しました。現在活躍しているスポーツ選手、タレント、歌手、俳優、芸術家の方々（あさのあつこ・佐藤弘道・城彰二・竹下景子・吉永小百合・壇れい・椿姫彩菜・西川きよし・松岡修造・やなせたかし・横浜FC等１０３名）からの子どもたちへの心温まるメッセージを描いた「絵馬」を展示。子どもたちも大人の方々も「絵馬」を見て元気になってくれるように、ほほえんでくれるように、そんな願いを込めて「夢メッセージ展」を開催しました。来場者は約300人でした。また、会場では、ボランティアグループの方とメンバーで、絵本の読み聞かせもいたしました。

☆講演会「保健室からの思春期レポート」講師：金子由美子氏

2011年1月27日　会場 大井第2地域センター

金子氏は，埼玉県の公立学校で長く養護教諭として保健室で生徒と向き合っている先生です.

金子先生の第一声を聴いた瞬間に，まさに中学校の先生であると印象づけられました．元気いっぱいで，お腹の底から声を出されていて，長年の経験が表われていました.

多感な時期である生徒と向き合うには，何よりも健康でガッツがなければいけないのでしょう．保健室で生徒の保健指導に携わっている訳で，ご自身が心身ともにタフでなければ，生徒の模範にはならないのでしょうが。

それにしても，金子先生のお話された内容は，聴衆を引き寄せるインパクトあるものでした.「中学校の先生はこんなにも大変なんだ」,「保健の先生は保健室にいるだけで楽そうに見えたけれども，色々な生徒の心のケアをするとても重要な人だ」という印象を強く持ちました。

講演の内容は，今まで指導をしてきた生徒から考える現代の子ども観，子どもを取り巻く社会状況についてでした。

生徒をとりまく問題はたくさんあります。学力低下、いじめ、不登校、校内暴力、非行、怠学、摂食障害、コミュニケーション・人間関係形成能力の低下などが挙げられます。これらの問題の背景の一つとして、家庭に問題があることを金子先生は指摘しました。

家庭はそもそも子どもにとって、安心できる居場所でなければなりません。家の外で悲しかったり、辛かったりしたことがあっても、家族が子どもを守るとともに、子どもに「次の日頑張ろう」という意欲を喚起させるのが本来の家族の役割です。

離婚，虐待，経済的困窮，母子依存，家庭の教育力の低下，地域との関係の希薄化などにより，子どもは家庭にいることを窮屈に感じています．金子氏の話を聴いていると，耳を疑う状況に子どもはいることを知りました．親が愛人のところにいるために家にいない，家族の世話をするために学校を休む，衣食住が確保されていない，電気・ガス・水道が止まっている，お風呂に入れないなどです.

日本人は裕福になったと言われますが，戦前の日本を思い出すような状況にいる子どもがいるのは現実なのです.ですから，学校の先生に家族のような役割が求められているのだと考えました.

〈参加者感想〉

金子先生のお話を聴いていると，先生は母親のように親身に生徒に接し，保健室に生徒の居場所を作っている姿が想像できました．いい講演会でした。　　（H　・S）

☆講演会「災害時の心のケア」講師：南　幸恵氏

2011年4月25日　会　場　きゅりあん

大きな災害が起こり、「心を痛めていない人はいない」そんなときに、仲間でもある産業カウンセラーの南さんからそんな心に寄り添う話しを聞きました。

日常的にも私たちはストレスを持っていますが、大きな災害が起きた後はそのことでエネルギーが落ちています、ほとんどは一月ほどでもとに戻りますが、エネルギーが落ちているときにかける言葉は慎重に大事に使わなければいけないということです。

具体的には「～しなさい、」「～するな」はいけないということですが、体験を話したり、気持ちを打ち明けられることで落ち着いてくるようで、はなしをきいてあげることはだいじなことだそうです。

また根性や気合だけで大きなストレスは乗り切ることは出来なくてやはり時間が大切だと言うことでした。もし一月たっても変わらなかったり、ひどくなったときは、専門家に助けてもらいましょう。

〈参加者感想〉

私たちが日常チャイルドラインで行っている、**“話しを聴く”**これがほんとに大事なことのようです。南さんありがとう！何が大切なのかの確認と落ち着き（安心）をもらいました。　　（K　・K）

10周年イベントにむけて

開催予定日 10月2日 会場 五反田文化センター

① 10周年イベントの経過や今後の予定は？ 【M・M ＆ S・N 】

当初、午前の部は基調講演を予定していました。乙武さん・明橋さんなどに交渉後、実現に至りませんでした。現在は地域の子どもから大人まで楽しめる音楽会を企画中です。午後の部のワールドカフェについては、一度しながわチャイルドライン内で新旧交流会として練習をしました。お菓子や軽食をつまみながら楽しくワイワイ話し合いを進め、学びのある交流の時を過ごしていました。5月15日(日)には、他団体交流会として、ワールドカフェを実施します。

②ワールドカフェって?

よりよい社会・よりよい活動についてみんなが主役で語れる場。新しい知識やアイディアをカフェのような気楽な雰囲気で多くの人が入れ替わりながら行う自由な話し合いの方式です。

当日は、中学生以上(未定)からおとなを対象に行い、

「世代を超えて対等に話せる場を共有」できたらと考えています。そのため、子どもの参加者の話が潰されることのないように心がけていきます。しながわチャイルドラインの雰囲気って安心できて、すごく素敵だと思うのです。

私たちだけではできません。一緒に温かい雰囲気を作り上げましょう。人との出会いを楽しみましょう。

③想いやみんなへのお願いはある？

今年は『しながわチャイルドライン』が誕生して10年という節目の年です！私たちは7期生でチャイルドラインと関わってまだ日は浅いですが、この場で多くの経験を積み、多くのことを学びました。その恩返しとしてしながわチャイルドラインの10歳の誕生日をお祝いすることを企画中です。私たちでは集客も、開催もままならない状況です。皆さんの力をたくさん借りて、盛り上げていきたいと思っています！みんなのしながわチャイルドライン..10周年イベントへのご協力、よろしくお願いいたします。

メンバーよりの投稿

☆この頃思うこと（ ＹＴ ）

まだまだ余震の続く毎日。東日本大震災から早、２ヶ月が経ちました。
職場のテレビで丁度午後の２時４６分
被災され命を無くされた方たちに黙祷をささげていました。
私も、一緒に黙祷をささげました。

生きていた人が、一瞬で姿も形もなくなってしまうという
信じられないことが起こりました。
心の傷はどんなに深いか・・
言葉に出来るはずがありません。

優しい笑顔も、怒ったか顔も、泣いている姿も
全て何もかも奪われてしまうのは
悲しい、という言葉では表せません。

先日、秦　万里子さんのコンサートに行ってきました。
開演と同時に、真っ暗な中でろうそくを手にした彼女が舞台に立ち
会場のみんなとともに、１分間の黙祷をささげました。

彼女は、震災後すぐに、東北の現地へ行き、
言い表せない被災地の状況を目の当たりにし、
歌で、被災された方たちを励まして来られたそうです。
そこで、感じたことを、歌で私たちに伝えてくれました。

誰も悪くないのに・・という歌詞が心にしみました。

チャイルドラインができること、
それは、静かに、多くを話せない心に痛みを持った子どもたちと
心で繋がれたらいいのではないかと。
話せないほどのつらさや、悲しさを
電話を通して話が出来るようになるまで
じっと待つことが、今の私たちが出来ることではないかと思います。

しながわＣＬの有志で義援金を集めたり
中古のピアニカを集めて送ろうとしたり
何をしたらよいか解らないけど、
何かをしないではいられない被災地の映像。

子どもたちのエンパワーを信じて
活動している私たちです。
大人より弱い立場に置かれていると思いながらも
やわらかい心を持った子どもたちに
大人たちは元気をもらい、勇気づけられているのです。

自分の苦しい気持ちを、少しずつでもいいから
電話をかけてきて、話せるようになったら
話を聞かせてください。
何も出来ないけれど、話を聴くことだけしか出来ないけれど。
私たちＣＬの仲間たちはみんなの声を聴くために
待っていますね。ずっと。ず～～っと。

○「私とチャイルドライン」（Ａ・Ｙ）

私はしながわチャイルドラインに入って今年で３年目になります。個性豊かなメンバーに囲まれ、楽しく活動しています。私がチャイルドラインの活動をしていて学んだことは、「生きていくことが辛い」という電話を受けて、どう接していいか分からずに電話が終わってしまい、落ち込んでいると支え手の人から、「チャイルドラインは、その子の辛い気持ちを聴くだけで、その子の辛い気持ちが私と電話の向こうのあなたで半分になるんだよ。いっぱいだった辛い気持ちが半分になることで電話の向こう側の子は気持ちが軽くなり、また明日から頑張れるよ 」ということを言ってくれました。チャイルドラインの活動って「こういうことか！」と実感しました。電話では、かけてくれた子の悩みや辛さを解決することには限界があるけれど、一緒に寄り添い、共感することで、気持ちを軽くするい事ができるんだな、と感じました。
今の日本は、慌ただしく、人間関係も希薄化し、悩んでいる子どもが増えています。チャイルドラインの活動のように「子どもの気持ちに寄り添い、子どもの話に耳を傾けるおとな」が増えれば、気持ちが軽くなり、一人で悩んでいる子が減るのではないかと思います。１０周年イベントなどを通じて、チャイルドラインの活動を社会発信していきたいと思います。

○今の子ども達に何が起きているのか？（M・S）

少しでも知りたいと思いチャイルドラインに参加しました。子ども達の環境はめまぐるしく変化し、子ども達を取り巻く問題も変わっていっていると感じています。研修でロールプレイなど、いろいろ訓練をしました。

「子どもの話を聞く」という事の難しさを感じながら、実際に掛かってきた電話にでています。電話で話しをした子どもが、（電話で話しを聞いてもらえて良かった）と思えるようなお手伝いが出来たらと思います。

○「チャイルドラインに参加して」　（S・S）

毎日毎日あっという間で、子供が小さかった頃はお世話中心。大きくなってくると、確認事項が多くなり、（あれやったの？これいつ片付けるの？）と普段の会話は、なかなか長くじっくりとできない。。でも、チャイルドラインの活動をすることで、家族の会話、家族とのコミニュケーションがいつしか、しっかりできるようになってきた。。聴く姿勢が、受け手をさせていただいたり、研修をしていただいたりして、身に付いたのである。意識が変わっていく自分に出会えた感じである。子供は敏感だ。電話の向こうでこちらの反応をよく聞いたり、確かめたりする。素直な感情をこちらも出し、素直に受け止めて行きたい。まだまだ、子供たちに教わり、いろんなことを気付かされる毎日だが、細く、長くチャイルドラインの活動をしていきたい。

○チャイルドラインに入って良かったです（T・K）

チャイルドラインに入って自分はすばらしい環境を手に入れることができたと思っています。チャイルドラインには色々な人がいます。普段は仕事をしている方、学校やアルバイトでは出会えない年上の方、普通に大学生をしていたら出会えない人達ばかりだと思っています。そんな先輩方と会話ができる、そのことが何より価値のあることだと思っています。

チャイルドラインに入ったきっかけは人のためにという気持ちが大きかったので、もちろん根本には辛い思いをしている子どものために何かをしてあげたい。少しでも辛い気持ちに寄り添いたいという気持ちがあります。しかし研修を重ねて、先輩方と会話をしていくうちに自分の成長のために・・・という気持ちが大きくなりました。

ちょっとした悩みを相談しても、同世代の友人では絶対に返ってこない返答が帰ってきたりして、その返答に、その言葉に感動した事もありました。

なので、これからも人のために何かが出来る喜び、自分が成長できる喜びなど、たくさんの喜びが詰まったチャイルドラインで頑張っていきたいです。

まだまだ皆さんに迷惑をかける新人ですがよろしくおねがいします。

チャイドルラインとは？

チャイルドラインは、１８歳までのこどもが、悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも話すことのできる電話で、全国各地で７０団体が活動しており、子どもたちの声を聴いていこうと、新たな仲間が増え続けています。

毎週金曜日	午後4時～7時	03-5742-7974
〃	午後7時～9時半	03-3494-8872
〃	午後4時～9時	0120-99-7777（全国共通）

☆会員募集中！！正会員、賛助会員（一口２，０００円）を募集しています。

（電話の受け手、渉外、PH・通信作成、庶務、資金調達等など）

＊ご入金は郵便振替用紙をご利用ください。口座番号 10140－49291081　口座名　しながわチャイルドライン

◎チャイルドライン活動に御支援・ご協力をいただいた賛助会員および企業、団体の皆さまには心より御礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。　―しながわチャイルドライン一同より―

東京のチャイルドラインだよ！

http://childline.x0.com

こまえチャイルドライン
(第2・第4木)ごご5時～9時
03－3489－4535

八王子チャイルドライン「コッコロ」
(水)ごご6時～9時
(土)ごご2時～5時
042－644－2232

チャイルドラインたちかわ
(日)ごご1時～5時
042－526－7622

チャイルドラインむさしの
(月)(火)ごご2時～8時
0422－52－5100

チャイルドライン中野子ども電話
(土)ごご4時～9時
03－3229－2525

子どもの電話ゆう・YOU・友
(月)ごご5時～9時
0422－32－7117

東京シューレチャイルドライン
(木)ごご5時～9時
03－3350－6424

しながわチャイルドライン
(金)ごご4時～7時
03－5742－7974
(金)ごご7時～9時30分
03－3494－8872

せたがやチャイルドライン
毎日ごご4時～9時
(月・日・祝は休み)
03－3412－4747

こどもネット八王子 子どものでんわ★21
(日)ごご4時～7時
(月)ごご6時～9時
042－620－5334

とうきょうかわのてチャイルドライン
(金)ごご6時～9時
03－3633－3387

めぐろチャイルドライン
(木)ごご5時～9時
03－5701－2519